

トピックス ①

<論文報告>

ロボット支援腎盂形成術 ～市中病院における導入の経験～

2021年4月、Japanese Journal of Endourology (日本泌尿器内視鏡学会の機関誌)に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いたロボット支援腎盂形成術の論文が掲載されました。

ロボット支援腎盂形成術は、2020年4月に新しく保険適用となった手術であり、水腎症(尿の流れが悪くなり腎臓に水(尿)がたまってしまう病気)に対する最もすぐれた治療法のひとつとされています。当院は、2011年に愛知県内の民間病院で最も早く「ダヴィンチ」を導入し、2012年にはロボット支援腎盂形成術も開始してまいりました(保険適用前は、倫理審査委員会の承認を得ております)。今回、国内でいち早く導入した手術経験を論文としてまとめました。論文化することで、あらためて気づくこともありました

ので、この気づきを含め、今後さらに患者さんのお役に立てるように追求していきたいと思えます。

泌尿器科 部長 黒川 寛史



黒川寛史^{1,*}

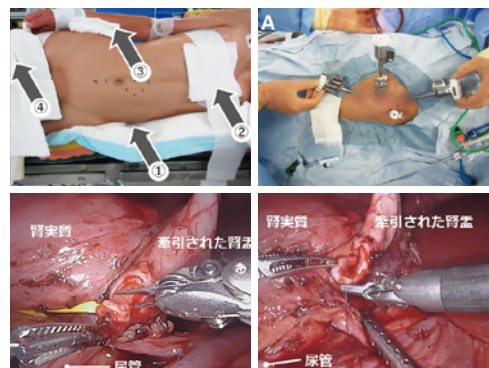
Japanese Journal of Endourology (2021) 34: 49-54 © Japanese Society of Endourology 2021

特集 2: 腹腔鏡下腎盂形成術: 適応の拡大と将来展望

黒川寛史^{1,*} 水野健太郎² 野崎有史³ 西尾英紀² 戸澤啓³ 安井孝博⁴ 林基太郎⁵

ロボット支援腎盂形成術 —市中病院における導入の経験—

要旨
近年、難治性の高い難病性腎臓病は、ロボット支援手術と腎盂形成術が治療選択肢になりうると思われた。限られた手術件数の中で、安全で質の高い治療が提供できるように



▲論文の図の抜粋